

第53回 水戸市高齢者 作品展

開催期間：平成 28 年 8 月 5 日(金)～ 10 日(水)
会場：茨城県総合福祉会館
出展数：119 点 来場者数：416 人



連合会設立時から毎年開催している高齢者作品展も、53回目を迎える。

出展は高齢者クラブ会員のみならず、市報で公募し一般の方も多く出展してくれている。

ここ数年、出展が減っていた書や陶芸が増え、一般からは、毎年水墨画クラブの方々の大作が揃い、そのほかにも、写真、切り絵、彫刻など、息を呑むような精巧な作品が出展された。高齢者をいかに有意義に過ごすか、趣味や没頭できるものがあることが如何にしあわせなことが改めて感じた。



見川東偕楽会 会長 吉田潤一（80 歳）



古来より「豚もおだてりゃ木に登る」という諺がありますが、私が小学校の時、先生に一枚の絵をほめられた（おだてられた）ことがきっかけで、図画工作が大好きになりました。

定年後、市民センターの絵画クラブに入会し、これまで作品展には油絵を出品してきましたが、今回は、定年前に作った模型飛行機を展示させていただきました。製図からこつこつと手がけたもので、思い入れのある作品です。

まだまだこれからも、物作りにチャレンジしていこうと思っています。

第43回 水戸市高齢者クラブ 芸能発表大会

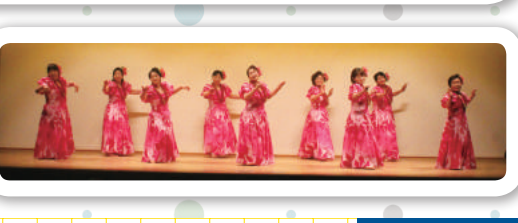
期日：平成 28 年 6 月 30 日(木)
会場：茨城県立県民文化センター 小ホール
来場者数：600 人（内一般観覧者 115 人）

当日は、高橋市長、村田市議会議長、保立社協会長、根本保健福祉部長を来賓に迎え、29チーム、294人の出演者が舞踊や歌など、凝った衣装を身に着け披露する趣向で華やかに芸能発表大会が開催された。

市長があいさつに立ち会場を見渡し、会场上段に溢れるほど観覧者がいるのを見て驚き、あわてて係員が椅子を運び入れるというハプニングも。演じる側も、緊張と喜びの中、普段の練習の成果を発揮できたことと思う。

舞台裏では、楽屋も限られた部屋数を、そこは高齢者クラブの仲間同士、初めて会う顔でも譲り合い、終始和やかな雰囲気であった。

毎年招待している開江老人ホームの方々から、「来年は私たちも是非舞台に立ってみたい!」という声があがり、後日、職員から「来年の出演に向けて、早速練習を始めますよ。」と連絡をいただいた。新たな出演者を迎えることとなり、次の開催が楽しみである。



普段着に心の温かさや思いやりが存在すると、人情の情景が実に美しい。そんな現場に巡り合うと、思わぬ感動に生きていることの素晴らしさを再発見する。伝えることの大切さ、広報紙の役割と存在価値が、そこにあるような気がする。

現在、寿クラブの広報紙は、桑名サチ子さん一人が編集作業を行っている。原稿依頼、取材・原稿作成、点検・見出しつけ・レイアウト、印刷指定、校正といった編集作業のほか、印刷所と交渉までも。

嘘のような本当の話だから、今、担当者に心から感謝し、作業の分担を緊急な課題として検討中です。

今後の課題 これから目指すもの	配布先	発行頻度	会報のサイズ	発行責任者	会報名称
心の豊かさや感動のありがたさを、本音で紙面に求めている。	会員	年一回と特集企画	B4・4ページ	会長 富岡 忠	ふれあい寿

こんな
広報紙を
発行しています
(6)

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--	--

水戸市長杯高齢者クラブ オセロ大会

期日：平成 28 年 9 月 3 日(土)
会場：トモスミとビル セミナーホール



オセロ連盟による
ルール説明



開始序盤のゆったり
とした雰囲気

昨年は、11月1日から4日間、水戸市で「第40回世界オセロ大会」が開催された。

オセロは水戸が発祥の地と言われ、今から70年前、現在の日本オセロ連盟会長長谷川五郎氏(28年8月逝去)が旧制中学(現在の水戸一高)のときに発案したゲームで、五郎氏の父で英文学者の長谷川四郎氏により、黒人の将軍と白人の妻が登場するシェイクスピアの戯曲「オセロ」に因んで命名された。

現在は世界30カ国以上で親しまれ、オセロの愛好者は日本で、6,000万人以上、世界では6億人を超えられているとされている。

世界大会が水戸市で開催されるにあたり、市高連も実行委員として、プレ大会を開催することで、この期間を大いに盛り上げようと7月の役員会で承認された。

当日の運営は、日本オセロ連盟茨城県支部と文化交流課の協力をいただき、各地区代表の選手38名が4回戦を戦う予定であった。

しかし、普段サロンなどで仲間と和気あいの雰囲気で行っているオセロとは違い、今回は厳密なルールの下での大会である。

『始まると会場は、一気に真剣勝負の空気に変わった。』と、盛り上がるころだが、なんせ「初めての人?」と連盟の方に問われ約半数以上が手を挙げてしまった。

「では、ルールの説明からはじめましょうね」という展開に…時間制限関係なく一心に置く場所を考え込んで十数分の方をなんとかかせきしながら、やっと3回戦を終え、集計に入った。

初めて参加したクラブの会長さんは、「こんなに楽しいものなら、クラブの活動でやってみよう。」と会場を後にした。



優勝した
中山義雄さん
(寿クラブ)



熱戦に市長も観戦



終盤となると真剣勝負

第27回

水戸市高齢者クラブ スポーツ大会

活動は
いきいき
わいわい

期日：平成 28 年 10 月 4 日(火)

会場：水戸市総合運動公園

参加者：ゲートボール競技	8 チーム	47 人
輪投げ競技	47 チーム	235 人
ペタンク競技	18 チーム	59 人
グラウンドゴルフ競技	43 クラブ	186 人

さわやかな晴天の中、選手、応援約600人が集まり、高橋市長、村田市議会議長、保立社協会長、根本保健福祉部長を来賓として迎え、スポーツ大会が開催された。

スポーツ委員 拜原 一成 (三の丸喜楽会第2クラブ)

最初に本大会に参加したのは2年前で、グラウンド・ゴルフ競技に参加しました。一昨年は豪雨により中止となりましたが、運よく抽選に当たりペタンク競技で県大会に出場する機会を得ました。

今年度は、輪投げ競技のスポーツ委員として運営に携わることとなりました。

前日は、小雨の中で仲間の委員とコートづくりをしましたが、初めての経験で、委員長や審判長、副審判長のてきぱきとした仕事ぶりが印象的でした。

今回の衝撃は、選手宣誓の大役を何の因果か、私が仰せつかったことでした。(一部には、委員の中で一番若かったからとか。)宣誓文のネタを事務局から渡され、「自らのアイデアを入れてアレンジしてください。」と言われましたが、「さて、文章を変更したうえでの宣誓失敗はキツイな…」と思い、そのままの文言で選手宣誓に臨むことにしました。

開会式が始まり、宣誓の文言をほんのひと時忘れてしまうようなこともありましたが、『声は多少、小さかったもののよくできた!』との仲間の評価をいただき、この大役を果たすことができました。



平戸 亨
スポーツ委員長



成績表

ゲートボール競技の部

優 勝	浜田松一クラブ (浜田)
準優勝	中島高年者クラブ (鯉淵)
第3位	小林長生会 (内原)
敢闘賞	台渡里高齢者クラブ (渡里)

輪投げ競技の部

優 勝	台渡里高齢者クラブ (渡里)
準優勝	かわだ熟年チャレンジ倶楽部 B (赤塚)
第3位	寿クラブ B (寿)
敢闘賞	開江竹の会 (双葉台)

ペタンク競技の部

優 勝	笠原本田高齢者クラブ
準優勝	上中妻地区高連 (上中妻)
第3位	堀町寿クラブ C (渡里)
敢闘賞	三の丸地区高連

グラウンド・ゴルフ競技の部 (個人)

優 勝	根本 祐吉 (渡里)
準優勝	坪 輝雄 (上中妻)
第3位	永田 明彦 (吉田)
第4位	小坂部強四郎 (上中妻)
第5位	岡田 浩 (三の丸)
第6位	鈴木 馨 (飯富)
第7位	皆川不二男 (上大野)
第8位	小林 昭利 (双葉台)
第9位	鈴木 浩三 (笠原)
第10位	内田 隆 (吉田)

【11位～12位】

鈴木 操 (緑岡)	富田 實 (梅が丘)
鈴木 昭子 (笠原)	薬師寺きみ (渡里)
長谷川孝之 (吉田)	矢部 英子 (堀原)
石塚みどり (緑岡)	増川 信弘 (吉田)
平山 文男 (上中妻)	

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています